

**問題** 当工場では、製品Aを連続生産しており、総合原価計算を行っている。下記の資料にもとづいて、月末仕掛品原価、当月完成品原価、製品単位原価を答えなさい。なお、端数が生じる場合、円未満を四捨五入して解答すること。

<資料>

1. 当月の生産実績

月初仕掛品	300 個 (50%)
当月投入	5,000 個
合計	5,300 個
完成品	4,450 個
月末仕掛品	800 個 (70%)
仕損	50 個
合計	5,300 個

(注) ( ) 内の数値は、加工進捗度を示している。

2. 原料Vは始点で、原料Wは加工進捗度 30%の時点で、原料Xは加工進捗度 60%の時点で、原料Yは工程を通じて平均的に、原料Zは工程の終点でそれぞれ投入される。なお、平均的に投入されるもの以外は全量投入されている。

3. 工程の 40%の時点で仕損が発生している。それは通常発生する程度のもの（正常仕損）であり、加工進捗度を加味して合理的に負担させる。なお、仕損品の処分価額は 15,000 円であり、その価値は原料Vに依存している。

4. 原価データは、次のとおりである。

	原料V	原料W	原料X	原料Y	原料Z	加工費
月初仕掛品原価	150,300 円	120,300 円	?	30,150 円	?	90,150 円
当月投入原価	2,490,000 円	1,980,000 円	1,575,000 円	972,000 円	690,100 円	2,916,000 円

5. 月末仕掛品の評価には、先入先出法を用いて計算する。